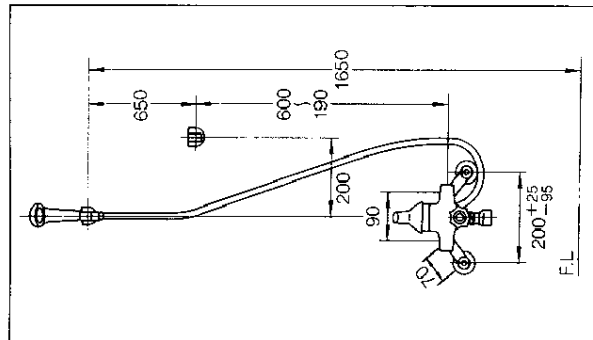


“ファミリースリーズ”シンダグルレバーシャワーバス金具取付説明書

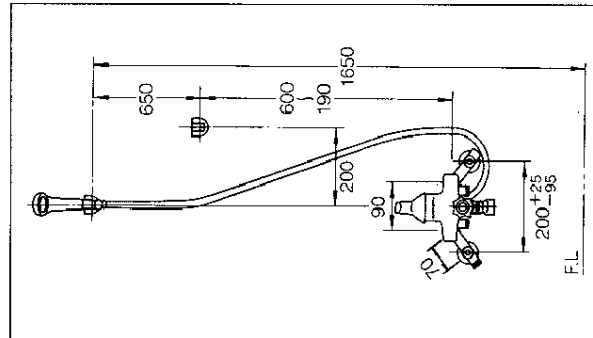
製品の機能が十分に発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

完成図

一般用 (TM135C)
(TM135CH)



寒冷地用 (TM135CHZ)



使用条件

1. 使用水圧
- (1) 瞬間型給湯機と組合わせる場合
- 給水圧力 { 最低必要水圧……(下表参照)
最高水圧……………7.5kgf/cm²

器具入口部における最低必要水圧 (kgf/cm²)

給湯機タイプと号数	最低必要水圧
従来タイプ	
8号	A+0.7
10号	A+1.0
12号	A+1.3
比例	
TOTO	1.0
カスタム	0.9
制御方式	0.7
TOTO	0.7
トリコン	0.8
制御方式	0.7
(トリコン、	0.7
コンタクト、	0.7
アクティ-	0.6
TOTO	0.8
コマンド	0.8

注) TOTOカスタムシリーズでは、給湯機の温度を60°Cにした場合、表中の数値より0.1kgf/cm²多く必要になります。

表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれていません。)

(設定条件)

- 切換ハンドルは全開
- 給湯機温度調節は最高温に設定

- シャワー吐水温度：42°C
- 給湯配管長さ：5m

a) 従来タイプの場合

- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い (25°C) 夏期に着火させることを想定。

b) 比例制御タイプの場合

- 水温の低い (5°C) 冬期に約8 l/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。

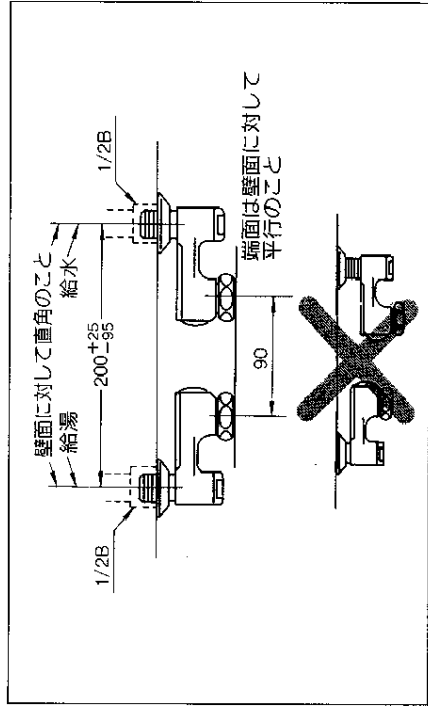
(2) 貯湯式温水機と組合わせる場合

- 給水・給湯圧力 { 最低必要水圧……0.5kgf/cm²
最高水圧……………7.5kgf/cm²

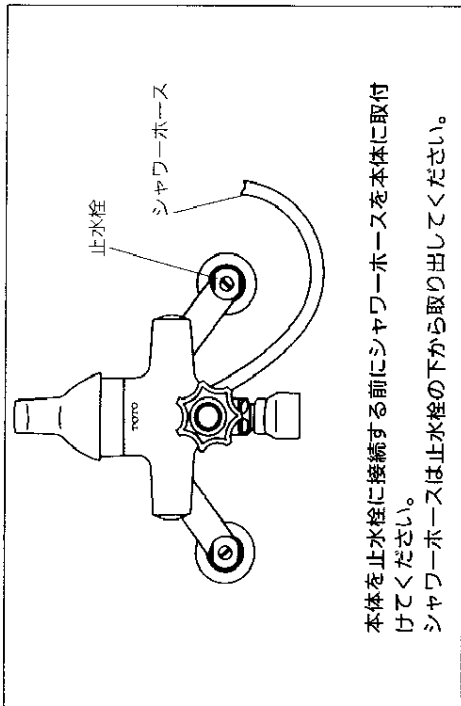
2. 給湯に蒸気を使用しないでください。
 3. 湯・水の逆配管はしないでください。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
- 配管後は必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

- (1) 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。
- (2) 止水栓の取付け



- (3) シャワーホースの取付け



ストレーナの掃除

ストレーナがつまると、吐水量が少なくなったり水又は熱湯しか出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもとどき掃除していただくよう指導願います。

お手入れ

めざされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンタワシなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。
もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

寒冷地用水抜き方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けておきます。

凍結のおそれのある時期に施工された場合は水抜栓の操作と台せて、次の要領で水抜きをしておいてください。

- また、お客様にもご指導ください。
1. 切替ハンドルをシャワー、カランの中間（シャワー側もバス側も開いた状態）にする。
 2. 脚部、本体の水抜きコック4カ所を開く。（シャワー・エルボにコックがある場合はそのコックも開く）。
 3. シャワーヘッドを床におきシャワー部の水を抜く。
 4. レバーハンドルを中央位置（湯側、水側の中間）で下げる。

分解と点検

取付後、万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検項目	
故障	点検項目
流量が少ない	1, 3
水が止まらない	2,
温度不良	1, 3

ご注意

バルブカートリッジ部および水撃防止バルブ部は、組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

